

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日	
				（生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください）		
死亡したとき	令和 年 月 日		時 分			
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()				
死亡の原因	I	(ア)直接死因	心嚢血腫	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	短時間	
		(イ)(ア)の原因	大動脈起始部解離		不詳	
		(ウ)(イ)の原因				
		(エ)(ウ)の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日	
	解剖	無	主要所見			
死因の種類		(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死		
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分		傷害が発生したところ	大阪府	
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他			
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況					
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数		
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		1単胎 2多胎 (子中第 子)	満 週		
追 加 事 項	1無 2有		3不詳	母の生年月日	前回までの妊娠の結果	
			昭和 月 日 平成	出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら						
急死の状況。救急搬送先病院の血液検査にて、トロポニン異常高値。CTにて、上記のように診断した。						
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日			
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
医 師			印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名			女	生年月日	昭和 年 月 日	() 時 分	
死亡したとき	令和 年 月 日				時 分		
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他			
	死亡したところ						
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()					
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	心嚢血腫	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間		
		(イ)(ア)の原因	胸部上行大動脈解離		同上		
		(ウ)(イ)の原因					
		(エ)(ウ)の原因					
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等					
手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日		
解剖	無	主要所見					
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死				
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死				
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府	
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他			
	手段及び状況						
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数			
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日	前回までの妊娠の結果			
	1無 2有	3不詳	昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 人胎 死産児 人胎 (妊娠満22週以後に限る)			
その他特に付言すべきことがら 浴槽内死亡、顔面水浸。CTにて診断。気管内液体多量。							
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日	本検案書発行年月日			
		令和 年 月 日					
医 師		印					

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和	年	月	日	() 時 分
死亡したとき	令和		年	月	日	時	分		
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他					
	死亡したところ								
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()							
死亡の原因	I	(ア)直接死因	心嚢血腫			発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください （例：1年3か月、5時間20分）	やや短時間		
		(イ)(ア)の原因	貫壁性心筋梗塞				不詳		
		(ウ)(イ)の原因							
		(エ)(ウ)の原因							
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等							
手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日			
解剖	無	主要所見							
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死						
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 } 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 } 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死						
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分				傷害が発生したところ	大阪府		
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他					
	手段及び状況								
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)		妊娠週数	満 週		
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日		前回までの妊娠の結果			
	1無 2有			3不詳		昭和 年 月 日 平成	出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら									
前日夕方、当日朝。食後嘔吐。病院の待合室で、心肺停止し、救急搬送先病院でCT実施。心嚢血腫か心破裂か鑑別できなかった。死後CT：高吸収成分が大部分を占める心嚢血腫。左心室前壁・側壁境界部の外膜脂肪層内に高吸収（破裂によると推定）。大動脈起始部の解離は不明、虚脱は認めない。									
上記のとおり検案する				検案年月日	令和	年	月	日	
				本検案書発行年月日	令和	年	月	日	
医師					印				

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日		() 分	
死亡したとき	令和 年 月 日		時 分					
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他				
	死亡したところ							
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()						
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	心嚢血腫			発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください （例：1年3か月、5時間20分）	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離（推定）				同上	
		(ウ)(イ)の原因						
		(エ)(ウ)の原因						
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等						
手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日		
解剖	無	主要所見						
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死					
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死					
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分				傷害が発生したところ	大阪府	
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		傷害が発生したところ		
	手段及び状況							
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	単胎・多胎の別		妊娠週数				
	グラム	1単胎 2多胎 (子中第 子)		満 週				
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日		前回までの妊娠の結果				
追 加 事 項	1無 2有	3不詳		昭和 年 月 日 平成		出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
	その他特に付言すべきことがら							
仕事中、急に黙り、いびきをかき、まもなく、心停止。救急搬送先の病院で、開胸して、心嚢血腫を確認し、大動脈解離と診断したのを確認した。								
上記のとおり検案する		検案年月日		令和 年 月 日				
		本検案書発行年月日		令和 年 月 日				
医 師				印				

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日	() 分
死亡したとき	令和 年 月 日	時 分				
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()				
死亡の原因	I	(ア)直接死因	心嚢血腫	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位 で書いてください ただし、1日未満の 場合は、時、分等の単位 で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因	大動脈起始部解離		同上	
		(ウ)(イ)の原因				
		(エ)(ウ)の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日		
解剖	無	主要所見				
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死			
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		
	手段及び状況					
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)	妊娠週数	満 週
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日		前回までの妊娠の結果	
	1 無 2 有		3 不詳		昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 死産児 人胎 (妊娠満22週以後に限る)
その他特に付言すべきことがら 食事、入浴の後、倒れた状況。救急搬送先にて、胸部レントゲン撮影し、心拡大を確認し、心嚢液貯留を疑う。血液検査にて、BNP 498.9pg/mL、D-dimer 10.59μg/mL、Glucose 454mg/dL。死後CTにより診断した。						
上記のとおり検案する			検案年月日	令和 年 月 日		
			本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医師			印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日	() 分
死亡したとき	令和 年 月 日		時		分	
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()				
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	心嚢血腫	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	短時間	
		(イ) (ア) の原因	胸部大動脈解離		同上	
		(ウ) (イ) の原因				
		(エ) (ウ) の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
	手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日
解剖	無	主要所見				
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死			
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 } 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		
	手段及び状況					
生後1年未満で 病死した場合の 追 加 事 項	出生時体重	単胎・多胎の別	妊娠週数			
	グラム	1単胎 2多胎 (子中第 子)				
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日	前回までの妊娠の結果			
1無 2有	3不詳		昭和 年 月 日 平成	出生児 人胎 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
	その他特に付言すべきことがら					
午前2時頃から、腰痛、肩痛を訴えていた。救急搬送先病院にて、CTを実施。医師の診断を監察医が確認した。						
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日			
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
医 師			印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			女	生年月日	昭和 年 月 日	() 分	
死亡したとき	令和 年 月 日	時 分					
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)	1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他				
	死亡したところ						
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()					
死亡の原因	I	(ア) 直接死因	心嚢血腫	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間		
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離		不詳		
		(ウ)(イ)の原因					
		(エ)(ウ)の原因					
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等					
	手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日		
解剖	無	主要所見					
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死				
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 } 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 } 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死				
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分	傷害が発生したところ	大阪府			
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他				
	手段及び状況						
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	妊娠週数	満 週	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日	前回までの妊娠の結果		
	1無 2有		3不詳	昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら CTにより診断。右に中等量、左に少量の血胸を伴う。							
上記のとおり検案する				検案年月日	令和 年 月 日		
				本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医師				印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名			男	生年月日	昭和 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	時 分
死亡したとき	令和 年 月 日 時 分					
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()				
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	心嚢血腫		発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	短時間
		(イ)(ア)の原因	左心室破裂			同上
		(ウ)(イ)の原因	急性心筋梗塞			不詳
		(エ)(ウ)の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
	手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日
解剖	無	主要所見				
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死			
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 【交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
外 因 死 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		
	手段及び状況					
生後1年未満で 病死した場合の 追 加 事 項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数		
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日	前回までの妊娠の結果		
	1無 2有	3不詳	昭和 年 月 日 平成	出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら						
CTにより診断。冠動脈左下行枝石灰化高度。大動脈起始部・弓部解離も認める。						
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日			
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
大阪市中央区馬場町1番6号 大阪府監察医事務所 医師 印						